

512 pp.

Engel, E. O. 1925-1930. In Lindner, Die Fliegen der palaearktischen Region. Stuttgart. Part 24, Asilidae. 491 pp.

Hull, F. M. 1962. Robber Flies of the World: The genera of the family Asilidae. U. S. Nat. Mus. Bull. 224 (1): 1-430, (2): 431-907.

新 著 紹 介

Hurd, Paul D., Jr. and J. S. Moure, 1963. A classification of the large carpenter bees (Xylocopini) (Hymenoptera: Apoidea). University of California Publications in Entomology Vol. 29.

Dr. Hurd は 1955 年に California のクマバチをまとめているが、ブラジルの Moure 教授の協力を得て、1957 年から着手した世界のクマバチの monograph がこのたび完成、出版された。本書は国を異にする 2 人の昆虫学者が、協力して見事な研究の成果をあげた好個の例として、さきの坂上昭一博士と Michener 教授の The nest architecture of the sweat bees に擬すべき業績であることが先ず特筆されてよからう。

内容は本文が 365 頁に及ぶ大著であり、世界産 3 属 (*Lestis*, *Proxylocopa* 及び *Xylocopa*) のクマバチが手際よくまとめている。 *Xylocopa* 属では、新世界産 17 亜属、旧世界産 31 亜属の計 48 亜属にわけられ、このうち 30 亜属は新たに記載された。記載の方法はユニークな手法が用いてある。即ち重要な特徴を頭、胸、腹部の 3 区分の中で、♂は 1-40 の 40 段階に、♀は 50-80 の 30 段階に区分し、夫々番号を付して記載があるから、検索や亜属間の比較検討に便利である。いうまでもなく地理的分布や生態の知見も加えてあるから、本書一巻で世界のクマバチが大観できる。

さて、日本のクマバチが関与するところでは、命名規約上からは極めて不完全な Maa 氏の *Alloxylocopa* の創設を生かしていることには先ず異論がない。しかも分類学上近縁の *Koptortosoma* との関連が明らかにされている点はすぐれた業績であるといえる。しかし世界最大のこの亜属 (*Koptortosoma*) については、更に検討すべき余地があるように思われる。因みに、小笠原島産の *X. ogasawarensis* Matsumura は一応 *Koptortosoma* に入れてはあるが、その所属は明確でない。

(平嶋義宏)

モモアカアブラムシを捕食するヒラタアブ類

南 川 仁 博・福 原 楯 男

南川は 1962 年 2 月、東京都小平市でハクサイに寄生したモモアカアブラムシ *Myzus persicae* Sulzer (Aphididae) を捕食していた *Syrphidae* の幼虫を飼育し、同年 3 月上・中旬に羽化した標本を福原が同定してつぎの結果を得たので記録する。

1. *Syrphus vitripennis* Meigen コガタノヒラタアブ 3♂♂
 2. *Metasyrphus corollae* Fabricius エゾコヒラタアブ 2♂♂ 2♀♀
 3. *Metasyrphus nitens* Zetterstedt ナミホシヒラタアブ 1♂
 4. *Epistrophe omogensis* Shiraki et Edashige 1♂ 2♀♀
 5. *Sphaerophoria formosana* Matsumura タイワンヒメヒラタアブ (=ホソヒメヒラタアブ) 2♂♂
 6. *Platycheirus urakawense* Matsumura ルリボシツヤヒラタアブ 2♂♂ 1♀
- また、1953 年 6 月中旬、静岡県金谷では同じく次種が飼育された。
7. *Syrphus serarius* Wiedemann クロヒラタアブ 1♀